

「大胆な人に変えられる」

～私たちはこのままではない～

「あまりにも大胆なペテロとヨハネのことばに、議員たちは驚き、たじたじとなりました。二人は明らかに、教育も受けていなければ、宗教の専門家でもないのです。とうとう、イエスといっしょにいたからそうなったのだ、と認めないわけにはいなくなりました。」

使徒行伝4章13節 [リビングバイブル]

平昌五輪がスタートしようとしています。韓国の国内でも様々な問題があるようですが、素晴らしい意義深い大会になるようにと願います。

新約聖書の使徒行伝では、聖霊によって弟子たちが明らかに別人のように変えられていきました。その場に師匠であるイエス様がいない状態にも関わらず、彼らは主がご一緒の時よりも力強く福音を証するようになりました。どうしてそんなことが起ったのでしょうか？

聖書を読んでみると、旧約聖書でも特別な人が選ばれて、神の霊に導かれて力あるわざを行った記事が登場します。サムソンもそうでした。彼には怪力が与えられて、ライオンでさえも素手で倒してしまうほどでした。そして、最後には大きな異教の神殿を一人の人間だけの力で、その土台ごと引き倒してしまいました。それには、彼の願いもありましたが、神様の御心がそこにありました。神様の御心とタイミングとその人自身の願いが一致した時になされる超自然的な主の御わざであると考えることができます。

あなたが主イエス様を天から来られた神の御子、救い主であることを信じるなら、あなたのうちに聖霊なる神様がご臨在くださり、あなたの願いと共に、主の御心が現されるときに、聖霊によって満たされ、別人のように変えられるのです。

故デイビット・ウィルカーソン師が米国ワシントン州スポケーンで「自殺」についてのメッセージをしたときに、一人の少女からこんな反応がありました。「確かに、あなたが言われる通り、自殺することは間違っています！しかし私は今週ずっと自殺を考えていました。父はアル中で私を殴ります。母は遊び歩いて家に帰ってきません。母は私が嫌いなんです。私を愛してくれる人は誰もいません。失うものがない人にとって、自殺するのは簡単なんです。」

日本の自殺者も一年に3万人、世界では80万人、40秒にひとりのペースで亡くなっています。特に日本では、15歳から24歳までの若者の自殺者の増加が目立っているとのこと。若者はその時代の空気に敏感に反応します。高度経済成長を過ぎて、目的を見出しにくい社会。そんな孤独を感じざるを得ない時代に生きる若者たちにとって、「助け主、励まし主、慰め主」である聖霊様のご存在はいよいよ大きな意味を持ってくると感じます。私たちの人生のオリンピックを全能のお方と共に歩む恵みを大胆に証していきたいと思えます。